

不妊治療の基礎知識

不妊に悩むご夫婦への

特定治療支援事業が拡充

不妊治療に取り組むご夫婦にとって、治療費の負担は大きいもの。これまでも国や都道府県、指定都市、中核市などが、不妊治療に関する費用一部を助成していたが、今年（令和3年）の1月から、さらにその「特定治療支援事業」が拡充された。

精に進む場合もある。

所得制限の撤廃や助成額の増加など治療費の負担減へ

不妊治療には大きく3つのステップがあり、まずはタイミング療法、次に人工授精と続き、これらの治療を受けても妊娠しない場合は、体外受精や顕微授精に進むことになる（検査の結果によっては、初めから体外受精や顕微授

精に進む場合もある。この体外受精および顕微授精が対象となっているのが「特定治療支援事業」だ。これまで夫婦合算の所得が730万円未満だった所得制限が撤廃され、助成額も1回15万円から30万円になるなど、支援が拡充されている。男性不妊治療にも助成されるので、活用して前向きに治療を進めていきたい。

事業の概要

- 要旨 不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用一部を助成
- 対象治療法 体外受精及び顕微授精（以下「特定不妊治療」という）
- 対象者 特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか、又は極めて少ないと医師に診断された夫婦（治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満である夫婦）
- 給付の内容
 - ①1回30万円
 - ※凍結胚移植（採卵を伴わないもの）及び採卵した卵が得られない等のため中止したものについては1回10万円
 - 通算回数は、初めて助成を受けた際の治療期間初日における妻の年齢が、40歳未満であるときは通算6回まで、40歳以上43歳未満であるときは通算3回まで助成（1子ごと）
 - ②男性不妊治療を行った場合は30万円
 - ※精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術
 - 令和3年1月1日以降に終了した治療を対象（下記表1参照）
- 拡充の適用
- 指定医療機関
- 実施主体 都道府県、指定都市、中核市
- 補助率等 1/2（負担割合：国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/2）、安心子ども基金を活用

表1

現行の支援制度	支援拡充案
所得制限：730万円未満（夫婦合算の所得）	所得制限：撤廃
助成額：1回15万円（初回のみ30万円）	助成額：1回30万円
助成回数：生涯で通算6回まで（40歳以上43歳未満は3回）	助成回数：1子ごと 6回まで（40歳以上43歳未満は3回）
対象年齢：妻の年齢が43歳未満	対象年齢：変更せず（妻の年齢が43歳未満）

厚生労働省 ～不妊に悩む夫婦への支援について～

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000047270.html>



【事実婚も対象に】年金や医療保険等の社会保険制度においては、法律婚と事実婚を区別しておらず（例/年金の第三号被保険者制度、健康保険の扶養認定等）、保険適用への移行を見据え、不妊治療の支援についても同様に事実婚も対象とする。



薬剤師・国際中醫師の資格を持つ井上先生夫妻。完全予約制で他の人とかぶることがなく、子連れでの来店にも対応。



統合医療生殖学会学術理事の貴文先生。不妊治療の勉強会では講師を務める。「ここで妊娠生まれた赤ちゃんに会えるのがすごく嬉しいです」。

「ここを知れて本当に良かった」的確に妊娠へと導く子宝のかけこみ寺

北摂でも数少ない、粉薬・煎じ薬の調合も行う漢方専門薬局。子宝相談は得意分野で不妊漢方治療のエキスパート。多嚢胞や高FSHなど幅広い原因に対応可能で、妊娠した4人に1人が40代。卵の質改善ではその実績に、クチコミで遠方から通う方やクリニックからの紹介も多い。男性不妊の症例も多数。2021年の助成金拡充に向けて、今のうちに身体づくりをしていきたいという相談も増えているそう。



数多くの妊娠実績あり。喜びの声など、詳しくはHPで。

喜びの声

- FSHが30~70と高く、AMHも0.3のため体外受精をしていましたがいい卵が採れませんでした。そこで柚花さんに相談して漢方を始め、半年後の採卵で胚盤胞ができ無事妊娠。途中出血が続いたりしましたが漢方を飲みながらなんとか妊娠を継続できました。（吹田市 37歳）
- 流産を繰り返し体調も良くないため、体を変えないとだめだと思い相談に。腎虚、気虚がひどいので3カ月はタイミングを控えてしっかり作りましようと言われました。再開するとすぐに妊娠。今回は漢方でサポートしてもらいながら無事出産することができました。（豊中市 36歳）



この写真の雰囲気通り、やさしく相談しやすい人柄。国際中醫師専門士の資格を持ち、これまでの経験や豊富な知識から的確に体質改善へ導いてくれる。不妊症、アトピー、自律神経失調症など不調を感じたら相談してみよう。

多嚢胞や子宮腺筋症でも自然妊娠の実績は多数

「現代人は食生活や生活習慣の乱れから、自分の体を改善させていくことを優先し、新たな命を生み出す力がない方が多くなっています」と西口さん。漢方では、ホルモンバランスを整えたり、卵の質を良くするなど、足りなくなった力を補い自然妊娠を目指していく。西洋医学との併用も可能。諦めかけていた人が授かった例も多数あり。西口さんは患者目線にたった親身な対応が評判なので、悩まれている方はカウンセリング&相談は無料なので、予約して来院を。

喜びの声

- 3年半不妊で、多嚢胞性卵巣症候群と診断され、体外受精も3回失敗。さすがに思いで相談に行きました。月経不順、月経前の胸の張りなど体も不調だったので身体作りから。漢方を服用して6ヵ月後までには体調が改善、月経周期はなかなか整わなかったのですが、8ヵ月後に見事自然妊娠しました！本当に良かったです。（30代女性）
- 2人目不妊の状態が3年間続き、人工授精を勧められました。抵抗があり、友人に勧められて相談へ。漢方を飲んで2ヵ月後には、月経痛がましになり3ヵ月後には、冷えが改善し、低温期と高温期の差が0.5℃に。4ヵ月後に妊娠し安定期に入りました。先生にはほんと感謝です。（30代女性）

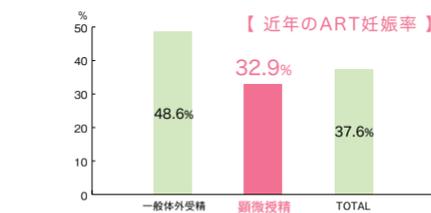
春風漢方薬局

豊中市寺内2-2-22
シャトーエデン109
営/月～金 9時～19時半、土 9時～18時
日曜・祝日定休
「予約制につき、電話でご予約を」
☎06-6151-2491
春風漢方薬局 で検索



漢方薬局 柚花香房

吹田市山田西3-57-20 ピアパレス王子101
営/平日9時～19時、水曜9時～13時、土曜9時～17時
日・祝定休 P2台あり
完全予約制
☎06-6816-9677
漢方相談は電話でご予約を
<http://wu-xiang-dou.co.jp>
柚花香房 で検索



患者さまの声

7月10日に2975gの元気な男の子を無事に産みました。貴院では約1年間お世話になりました。何回も体外受精を行い、なかなか良い結果が出なかった時は心が折れそうになりましたが、先生方やクリニックの皆さまのおかげで治療を続けることができ、かわいい子どもを授かることができました。本当にありがとうございました。2人目の時もよろしく願っています。（大阪市・Y.Uさん）

不妊治療専門クリニック 医療法人聖誕会 うめだファティリティークリニック (旧宮崎レディースクリニック)

大阪市北区豊崎3-17-6
診療時間/9時～12時、13時～15時半、17時半～19時半
（※金曜午後14時～、木曜午後13時半～）
休診日：日曜、祝日、火曜の午後診、土曜の夜診
地下鉄中津駅下車 3番出口より徒歩約1分
阪急梅田駅茶屋町口下車 徒歩約5分
☎06-6371-0363
<https://umeda-fc.org/>
※当クリニックは、特定不妊治療助成事業の「指定医療機関」です。



うめだファティリティークリニックは最先端の治療が受けられる

「うめだファティリティークリニックは、どこよりも早く最先端の治療を患者様にお届けできるよう、私たち看護師をはじめ、医師、胚培養士が日々研鑽を重ねています。まずはお気軽にご相談ください。」



【PRP療法・ERA検査】

2020年7月に厚生労働省「再生医療等委員会」より、多血小板血漿（PRP）の施設認定を受けました。体外受精において良好な受精卵を複数回移植しても妊娠に至らない方には、再生医療の技術を用いたPRP療法で子宮内膜を活性化させ、受精卵が着床しやすくなる環境をつくり、さらに子宮内膜が受精卵を受け入れる状態の時期（着床ウィンドウ）をERA検査で見極めて胚移植を行います。

【着床前診断（PGT）】

移植前に受精卵（胚盤胞）の遺伝子・染色体を検査し、良好胚のみを移植するので、流産率の低下が期待できます。

【男性不妊外来】

不妊専門の3名の泌尿器科医が在籍。男性専用フロアや待合室も設置。また無精子症の最新治療である「マイクロテセ」も導入。オンライン診療も活用していただけます。



精子の状態がわかる簡易キット。

当クリニックでは感染予防対策の一つとして診察方法を見直し、外来の待ち時間を減らすために「オンライン診療（遠隔診療）」を行っています。これはパソコンやスマホのインターネットを通じて、遠隔で治療を受けられるシステムです（CLINICSのサイトまたはアプリから利用可能）。診察時間

も9時半～、10時～というようにご都合のよい時間を30分単位診察時間が10分で選ぶことができ、自宅はもちろん、職場や外出先など、ご都合のよい場所でも受けることができます。不妊治療は超音波検査で卵胞の状態を診断しますので、いざは来院が必要になります。治療方針の相談、担当

ご相談ください。また、男性外来も生殖医療専門の泌尿器科医がオンラインで対応しています。今はスマホで精子濃度や運動率を測定できる簡易キットがあるので、それらを活用した診断も可能です。まずは一度、ご相談ください。

着床前診断（PGT）などの最先端治療で妊娠率向上 オンライン診療も好評で 男女不妊治療の実績多数



うめだファティリティークリニック 山下 能教 院長
大阪医科大学医学部卒業（医学博士）。日本産婦人科学会認定医、生殖医療専門医。大阪医科大学産婦人科学講師を経て、うめだファティリティークリニック副院長就任。平成29年4月に院長就任。